

空母艦載機の移駐に関する動向

■空母艦載機部隊の移駐が完了

市では厚木基地の航空機騒音問題を最重要課題の一つと位置づけ、騒音被害の抜本的解消に向けた取り組みを進めてきました。

平成18年に、在日米軍再編に伴い、国から「再編実施のための日米のロードマップ」が発表され、その中で厚木基地から山口県の岩国基地への空母艦載機(固定翼機)の移駐が示されました。このことから、市では大和市委基地対策協議会の活動なども通じて、移駐の早期実現に向けた取り組みを進めてきたところです。

そうした中、昨年8月から空母艦載機の移駐が開始され、その後、11月には騒音被害の主な原因であるFA-18スーパーホーネットの一部部隊が移駐しました。そして今年4月3日、防衛省から大和市に対し、5月頃に移駐する予定であったFA-18スーパーホーネット2部隊が3月30日に移駐し、すべての航空機部隊の移駐が完了したが、司令部などの人員の一部は今年後半に移駐予定との説明がありました。

空母艦載機部隊の移駐は完了しましたが、移駐後の空母艦載機や厚木基地の運用、騒音状況の変化など詳細については、国から示されています。

せん。昨年9月には、平成24年以來5年ぶりに厚木基地で空母艦載機の着陸訓練が4日間にわたり実施され、市内全域に甚大な騒音被害が及び、市民生活に多大な影響をもたらしました。

市では、国や米軍に対し、空母艦載機の移駐を市民負担の軽減に確実に結び付けるよう求めることにも、騒音被害や航空機事故への不安など厚木基地に起因するさまざまな負担の軽減に向け、引き続き県や周辺市とも連携しながら取り組みを進めていきます。



厚木基地から岩国基地へ移駐した空母艦載機FA-18スーパーホーネット

骨髄移植ドナー支援事業を開始

市は、骨髄・末梢血幹細胞移植を推進するため、ドナーとドナーが勤務する事業所への助成を開始しました。

対象▼公財「日本骨髄バンク」が実施する骨髄バンク事業において骨髄などの提供を完了した人(ドナー)で、次のすべてに該当する人およびその人が勤務する事業所

- ① 骨髄などの提供に伴う休暇の制度がない事業所に勤務している
- ② 大和市に住民登録をしている
- ③ 市税などの滞納がない
- ④ 同様の趣旨の他の助成を受けていない

助成額▼ドナー・骨髄などの提供にか

かわる通院・入院などに要した日数×2万円(上限14万円)／事業所・骨髄などの提供にかかわる通院・入院などに要した日数×1万円(上限7万円)

申し込み▼骨髄などの提供を完了した日の翌日から1年以内に申請書類を直接保健福祉センター健康づくり推進課へ。

保健福祉センター健康づくり推進課医療施策推進担当 ☎(260)5661 FAX(260)1156。

生涯学習振興補助金を交付

市は、文化や芸術などの生涯学習事業に補助金を交付しています。

対象▼市内を中心に活動する市民や団体が開催する次のすべての条件に該当する事業／①定例的なものでなく広く市民に向けて実施する、②文化、芸術、生涯学習を内容とする、③事業費の総額が20万円以上である、④来年4月1日〜

再来年3月31日に実施する

補助金額▼経費総額の2分の1以内(全団年で年間100万円を上限)

申し込み▼6月15日(金)までに、必

要書類を直接市役所文化振興課へ。必要書類は各学習センター、同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。※プレゼンテーションによる選考を実施し、結果は9月頃通知します。

市役所文化振興課文化振興担当 ☎(260)5222 FAX(263)2080。

市役所文化振興課文化振興担当 ☎(260)5310 FAX(260)5316。